

大学院生のための
キャリアパスガイド

CAREER
PATH
GUIDE **2020**
新潟大学PhDリクルート室通信

博士課程って

どんなところだろう？

博士の就職って

どうなんだろう？



博士のキャリアパスのイメージ

大学院生の皆さん、なぜ大学院に進学したのですか？
これからのキャリアをどのように考えていらっしゃいますでしょうか？

多くの方は理系なら大学院修士まで進学して、その後は企業などに就職と考えていらっしゃるのではないのでしょうか？しかしグローバル化が急速に進む世の中では企業における研究活動を担えるのは、修士から博士に移行しつつあります。PhDリクルート室では博士や博士に興味を持つ修士の方を対象に、アカデミアでも産業界でも必要で役に立つ能力を培うためのプログラムを提供するとともに、産業界でのキャリアを形成するためのマッチングやインターンシップを支援していきます。



Program 1 博士限定のキャリア相談

博士課程(DC)学生や博士研究員(PD)は修士課程(MC)学生とは異なり、就職に関して言えば倫理憲章などの制約は無くなります。つまり通年で就職活動ができるようになります。その分、新卒一括採用の波に乗って得られるものとは異なる時期に異なる方法での情報収集が必要となります。活動のタイミングもばらばらになってきます。また、多くの同期生が既にMC修了で就職してしまい、同じく産業界に就職を考えている博士の仲間も周囲からは少なくなっています。このような環境下で就職活動を進めるため、当室では博士専用のキャリア開発個別相談窓口を開設しました。ここでは、

- ① 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
- ② 獲得した知識やスキルを活かす進路を一緒に考えます
- ③ 博士人材を要望している企業との接点を作り上げます

皆さんのキャリアを構築するお手伝いをします。

修士課程(MC)学生でDCへ進学を希望、またDCの実際を知りたいという方のご相談にも応じます！

Program 2 キャリアマネジメントセミナー

DCやPDの皆さん(もちろんMCの方々も)は大学院や研究室で専門知識を身に付け、研究スキルを磨いていらっしゃると思いますが、その深掘りの専門性だけでは世の役に立つことは難しい。大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での実験研究はほとんどがチームで実施します。そのためチーム内のコミュニケーションやプロジェクトのファシリテーション、さらにはリーダーシップ、他部門とのネゴシエーションなど、仕事を成果につなげていくためには、研究以外の知識やスキルが必要になってきます。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも知的財産権(特許権など)の獲得が最優先されます。このように企業とアカデミアでは手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身に付けていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得もお手伝いします。事例として、

- ① プレゼンテーション
- ② イノベーションの起こし方
- ③ 企業の種類と分析方法
- ④ 商品開発の実際
- ⑤ 知的財産マネジメント
- ⑥ リーダーシップ
- ⑦ 交渉学(ネゴシエーション)
- ⑧ マーケティング
- ⑨ ビジネスマナー(演習) などなど...

これらのコンテンツをこれから順次提供していきます。お楽しみに！

Program 3 PhDリクルートフォーラム

企業を知るためにはいろいろな方法がありますが、博士人材にとっても企業人にとっても効果的なのは、直接会って交流することです。ここで実施するマッチングイベントは、誰でも参加できるわけではなく、効率よく交流するために事前にしっかり準備をした、制限された人数の博士人材が参加できます。

企業としても専門知識や研究スキルはもとより、社会人としての人格を伴う博士人材を要望しています。

- ① 企業からは求める博士人材や参画してほしい研究領域などをプレゼン
- ② 博士人材からは研究テーマや研究スキル、人物像そのものをプレゼン
- ③ さらにはブースでの双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができます

この場で社風や活躍できる分野の確認、研究所見学や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話も進めることができます。

Program 4 企業研究サイトビジット

マッチングイベントで気になる企業と出会った場合、また思わぬ企業から勧誘や研究所見学などを申し出られた場合、この機会を逃す手はありません。何人か同じような博士人材とともに企業をこちらから訪問し可能な範囲での見学とともに研究内容などのプレゼンとディスカッションもできる場合があります。マッチングイベントでは少人数の企業人としてしか話せませんが訪問すると多くの研究者と話すことができます。それによりさらにマッチングが深まりインターンシップから採用につながるケースも多々あります。

- ① 企業を直接訪問して業務の現場を見ることで働くイメージを獲得することができる
- ② 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認することができる
- ③ さらにはブースでの双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができます

この場では、企業現場の詳細な確認とともに中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話も進めることができます。

Program 5 JOB型インターンシップ

JOB型インターンシップ(専門領域やスキルに特化したインターンシップ)は企業活動を体験することで企業研究の実際を知り、その企業との相性などを確認するためにも非常に有効な方法です。文部科学省は各大学に対し、また経団連など業界団体を通じて博士人材のJOB型のインターンシップの実施を推奨しています。企業視線からも、優秀な博士人材に実際の研究テーマを一定期間担当してもらうことで、その人物像から研究スキルや知識レベルも評価することができます。双方にとってメリットがあります。

- ① 企業実務を体験でき、働くイメージを実感できる、企業との相性もわかる
- ② 企業もより深く博士人材の人物を知れ、研究スキルや知識レベルがわかる

企業の中に入り込んで体験できることは、その後の研究活動にも大きな影響を持つと思います。企業の考え方として「納期」や「コスト」、研究の「出口」の意識を体験し、自分のものとできます。

スタッフ



PhDリクルート室長
副学長・自然科学系教授/
地域創生推進機構副機構長

阿部 和久



担当教員
PhDリクルート室特任教授

樋口 直樹



協力教員
自然科学系教授/
大学院自然科学研究科副研究科長

本田 明治



協力教員
自然科学系教授

野中 敏



協力教員
自然科学系教授/
経営戦略本部教育戦略統括室

飯島 淳彦



事務スタッフ
PhDリクルート室

中村 弥生

アクセス



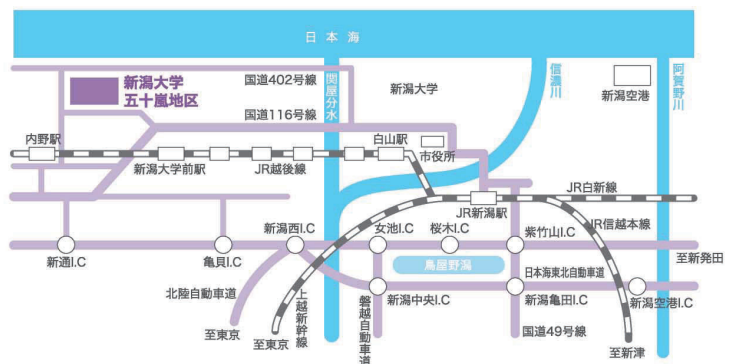
列車利用 (JR越後線)

新潟駅～内野駅 (所要時間25分) 下車 徒歩で約15分

新潟駅～新潟大学前駅 (所要時間22分) 下車 徒歩で約20分

バス利用 (新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門 (所要時間約45分)



新潟大学 PhDリクルート室

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学大学院自然科学研究科管理共通棟4階406号室

TEL:025-262-7217(内線7217) FAX:025-262-7217

E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL: www.phd.niigata-u.ac.jp

2020.09.02